

(お知らせ)

※ 数値等は全て速報値のため、
今後変更される可能性があります。

沖縄県宮古島市における新型コロナウイルスに係る災害派遣について

令和3年2月13日
防 衛 省

概要

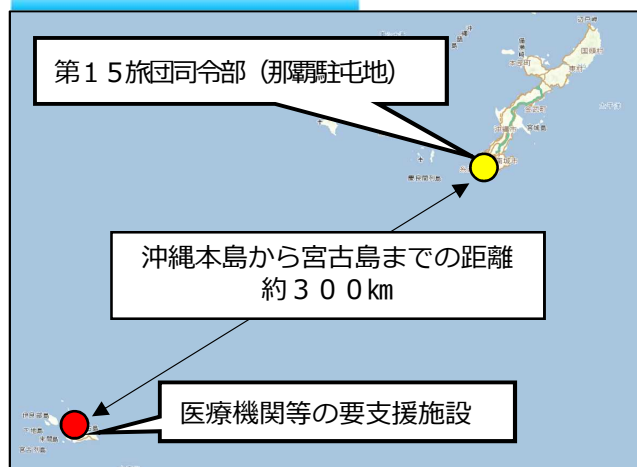
要

- 沖縄県宮古島市における新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、医療体制がひっ迫。沖縄県は、全国知事会等に看護師の派遣を依頼するなどしているが、全国に感染者が急増しており、看護師の早急な確保が困難な状況。
- 1月29日（金）、沖縄県知事から第15旅団長（那覇駐屯地）に対し、沖縄県宮古島市内の医療機関等の要支援施設における医療支援に係る災害派遣を要請。同日、陸上自衛隊第15旅団の医療支援チームが宮古島市に到着。
- 同月30日（土）に現地確認及び業務調整を実施した後、同月31日（日）から健康管理及び医療支援を開始。
- 新規感染者数の減少や、新型コロナウイルスに感染した医療従事者の職場復帰、沖縄県内からの看護師等の増援などにより宮古島市内の医療体制の回復が見込まれることから、沖縄県知事から第15旅団長（那覇駐屯地）に対する撤収要請を受け、本日（2月13日（土））1700、撤収を完了。
- ※ 沖縄県知事より、会見にて「2週間にわたる自衛隊の派遣、（中略）宮古島市が最も苦しい時期に支援を頂いたことに深く感謝を申し上げます」旨の御礼の御言葉あり。

活動内容

- 1月31日（日）～2月13日（土）、宮古島市内の高齢者施設において、看護官1名及び准看護師4名から成る医療支援チームにより、入所者に対する健康管理及び医療支援（汚染エリアでの看護業務を含む。）を実施。

位置関係図



活動の様子



医療支援



看護業務支援